

## 高尾山山行報告（2020年10月25日（日））

参加者： 伊藤（L）、池田、石井、荻野、神田、中島、三浦（7名）

行程： 9:00 高尾山口駅集合 9:15 出発（リフト利用組と分かれ）－10:03 稲荷山 10:10－11:05 高尾山頂（リフト組合流） 11:15－12:05 一丁平（昼食） 13:25－13:50 城山 14:10－14:35 小仏峠－15:15 小仏バス停 15:20＝15:40 高尾駅北口 解散

今年のコロナ騒動で2月以来会の山行は中止していた。コロナがほぼ小康状態となったので山行を再開することにして、まずは歩きやすい高尾山に行くことにした。

9時に高尾山口駅前集合としたが、行ってみるとあまりの人の多さにびっくりした。今日は快晴の日曜日だからか皆さんを見つけるのに苦労したが、定時には7名が無事集合した。

ケーブルカー駅前のベンチで身支度をして出発、リフト利用の2名と分れ5人はケーブルカー駅脇の稲荷山コース登山口から登り出す。駅前の大混雑とは打って変わってこのコースは人が少なく、緑の中の道は静かで気持ちが良い。ひと汗かいて稲荷山に着き、都心の展望を楽しむ。今日は快晴で空気が澄み切っており、ビル群はもちろん筑波山も良く見えていた。10分ほど休んで出発しその後は黙々と歩き、高尾山頂（599m）に着いた。

山頂広場は大賑わい、大混雑の中を探し回ってリフト組と合流した。全員で記念写真を撮ろうと思ったが、山頂標識前で写真を撮るのも順番待ちとなった。こんなに混雑しては休憩どころではないので、大混雑の富士見展望台から富士山をチラ見して先に進む。

階段を下って裏高尾方面に進むと大分人は減ったが、思ったより人が多い。紅葉台では富士山をじっくりと見ることができた。今日は気温がやや冷たいため空気が澄んでいて、遠方がスッキリと見える。その後は下りとなり、下りきって鉄塔のあたりまで来ると今度は上りとなる。道端には小さな白い「センブリ」の花がチラホラ咲いている。

一丁平に着くと、お昼の時間とあって多くの人が食事をしている。木のテーブルを確保して、豚汁を囲んだ楽しいお昼タイムとなった。半年ぶりにお会いする人もいて、近況報告などで話が弾んだ。1時間以上話してお腹も一杯になり重い腰（お腹も）を上げた。

一丁平から数分登った展望台できれいな富士山を見、その後軽く登って城山に到着した。天狗像の前で集合写真を撮り下山、木の根が多い歩きにくい斜面を降りて小仏峠に着いた。小仏峠からバス停に向かう道は歩きやすく、傾斜のゆるい整備された道を無理なく降りて行く。午後も3時近くなると谷間は薄暗くなってくるが、まだ登って来る人がいる。20分くらいで沢に沿った車の通れる道に出て、間もなく駐車場を通過した。舗装された道を歩きに小仏バス停に着くとバス停には増車されて2台のバスが待っていた。20分くらい乗って高尾駅北口に到着し解散したが、5名は話し足りずにその後近くで反省会を開催した。

今回は久しぶりであったが7名が参加し、「山に行く・外に出る」という気持ちのリハビリにもなった。実に天気の良い日に山行を楽しむことができ最高の休日であった。

（伊藤）